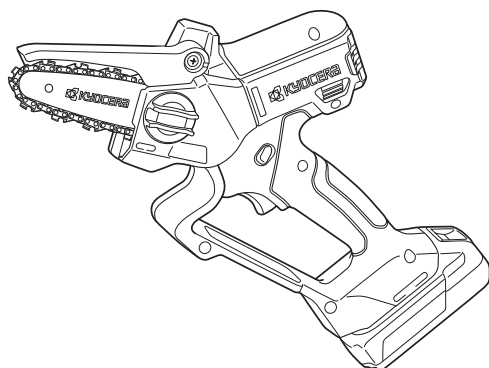


充電式ハンディチェンソー

BHCS-1810L1

BHCS-1810 (本体のみ仕様)



※ BHCS-1810 (本体のみ仕様) には充電器・電池パックは付属していません。



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

取扱説明書

保証書付

もくじ

ページ

安全上のご注意	1
危険表示・警告表示・注意表示について...	1
絵表示について	1
充電式ハンディチェンソーご使用に際して...	9
注意ラベルについて	14
主要機能・名称	15
各部の名称	15
仕様	16
付属品・用途	17
付属品	17
用途	17
別販売品	18
準備	19
充電について	19
ご使用前の準備	22
ご使用前の点検	23
使い方	25
スイッチの扱い方	25
ソーチェーンの張り調整	26
チェーンオイルについて	26
切断作業	27
本体が動かなくなったときには	32
保守と点検	33
ソーチェーンの目立て	33
ソーチェーンの交換	34
各部取付けネジの点検	36
使用後の手入れ	36
作業後の保管	37
修理について	37
故障かなと思ったら	38
保証書	裏表紙

安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△ 危険」と「△ 警告」と「△ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■ 危険表示・警告表示・注意表示について

表示内容が無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
 警告	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△ 危険」・「△ 警告」・「△ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■ 絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		必ず守る	よく読む	点検・確認
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		感電注意	回転部注意	

⚠ 危険

電池パック・充電器に関する安全事項



禁止

指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。

- ・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。



禁止

電池パックは火への投入、加熱をしないでください。



禁止

電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。



禁止

電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。

- ・電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- ・電池パックを充電工具または充電器から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋に入れてください。電池端子が短絡して発火のおそれがあります。



禁止

電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

- ・発熱、発火、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。

- ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックを水のような導電体に浸さないでください。また、電池パックの内部に水のような導電体を浸入させないでください。

- ・発熱、発火、破裂のおそれがあります。



禁止

電池パックを電源コンセントや、車のシガーソケットなどに直接接続しないでください。

- ・高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火の原因になります。



禁止

電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。

- ・指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが破損したり、発熱、破裂、発火の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警 告

作業場の環境について



水ぬれ禁止



必ず守る



禁止

作業場の周囲状況も考慮してください。

- ・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。

- ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、けがのおそれがあります。

- ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。

作業者に関する安全事項



必ず守る

不意な始動は避けてください。

- ・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ 電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。



感電注意

感電に注意してください。

- ・ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。



必ず守る

保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。
- また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



必ず守る

防音保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。



必ず守る

加工するものをしっかりと固定してください。

- ・ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
- 手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

警告

工具の使用と手入れ	 必ず守る 次の場合は充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。 ・ 使用しない、または修理する場合。 ・ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。 ・ その他危険が予想される場合。
	 禁止 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。 ・ この取扱説明書および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
電池パック・充電器に関する安全事項	 禁止 正しく充電してください。 ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。 ・ 周囲の温度が 0℃ 以下、または周囲の温度が 40℃ 以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。 ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。 ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。  電源プラグを抜く
	 必ず守る 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分に洗い、医師の治療を受けてください。 ・ 失明のおそれがあります。
	 禁止 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。
	 禁止 電池パックを電子レンジに入れないでください。 ・ 急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火する原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警 告

電池パック・充電器に関する安全事項	 禁止	ご使用済の電池パックは、一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。 ・ 捨てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。
	 禁止	電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気が付いたときは充電工具あるいは充電器より取外し、使用しないでください。 ・ そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
	 必ず守る	電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。 ・ 漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

⚠ 注 意

作業場の環境について	 必ず守る	作業場は、いつもきれいに保ってください。 ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
	 禁止	子供を近づけないでください。 ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。 ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
電気に関する安全事項	 禁止	充電器のコードを乱暴に扱わないでください。 ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。 ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。 ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
	 必ず守る	屋外使用に合った延長コードを使用してください。 ・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 注 意

作業者に関する安全事項



必ず守る

無理して使用しないでください。

- ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。



必ず守る

油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。



禁止

- ・疲れている場合は、使用しないでください。



必ず守る

十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。

- ・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。



禁止



必ず守る

アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。



禁止



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとせ、バランスを保つようにしてください。

安全上のご注意

⚠ 注 意

作業者に 関する 安全事項



禁止

きちんとした服装で作業してください。

- ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。
- ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



必ず守る



禁止

作業に合った充電工具を使用してください。

- ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。
- ・ 指定された用途以外に使用しないでください。



必ず守る

調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外しであることを確認してください。

工具の 使用と 手入れ



必ず守る

損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



よく読む

- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



禁止

- ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。



必ず守る

使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。



禁止

- ・ 充電工具や電池パックを、温度が45℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や車内など）に保管しないでください。

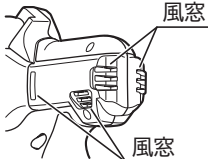
⚠ 注 意

工具の使用と手入れ	必ず守る 充電工具は、注意深く手入れをしてください。 ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。 ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。 ・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 よく読む 点検・確認 ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。 ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
電池パック・充電器に関する安全事項	必ず守る 電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。 ・皮膚がかぶれたりするおそれがあります。 必ず守る 電池パックは出荷前に若干量の充電をしてありますので、充電工具の動作確認にお使いください。動作確認ができない場合や、長時間の使用の場合には、指定の充電器で充電してからお使いください。 必ず守る 電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。 ・充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。 禁止 電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。 ・保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
修理とメンテナンス	分解禁止 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。 ・サービスマン以外の方は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。 ・充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。 ・この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。 ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。 ・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。 必ず守る 禁止

安全上のご注意

■ 充電式ハンディチェンソーご使用に際して

先に充電工具として共通の危険・警告・注意事項を述べましたが、充電式ハンディチェンソーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警 告	
作業 の 前 に	 点検・確認 作業する箇所に電線などが無いことを作業前に確認してください。 ・ 電線などがあると、ソーチェンが触れ、感電のおそれがあり、事故の原因になります。
	 必ず守る 風窓部に木屑などが詰まっていないことを確認してください。 ・ 木屑などが詰まっていると故障の原因になりますので清掃をしてください。 
安全 作 業 の た め に	 必ず守る チェンソーを雨中や湿気の多いところで使用したり放置しないでください。 ・ 感電のおそれがあります。
	 必ず守る 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。 ・ 本体がね返り、けがの原因になります。
	 禁止 はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。 また、肩の高さより高い位置で使用しないでください。 ・ けがの原因になります。
	 必ず守る 高所（高さが 2 m を超える箇所）で作業を行なうときは、高所作業用の機器を使用して安定した足場を確保し、安全帯（芯入り）を必ず着用し身体をしっかりと固定してください。 ・ けがや事故の原因になります。
	 必ず守る 高所作業時は、両手でハンドルを正しく握り、肘を軽く曲げて作業をしてください。片手持ち作業、腕を伸ばしての作業は行なわないでください。 作業範囲は作業者の肩から腰の高さとし、それ以外では作業を行なわないでください。 ・ けがの原因になります。  禁止

警告

安全作業のために



禁止

使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋は着用しないでください。

・ 回転部に巻込まれ、けがの原因になります。



禁止

ガイドバーの先端部での切断はしないでください。
また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。

・ 本体がはね返り（キックバック）けがの原因になります。



必ず守る



必ず守る

使用中は、工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。

・ けがの原因になります。



回転部注意



必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

・ そのまま使用していると、けがの原因になります。



点検・確認

誤って落したり、ぶつけたときは、工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しないでください。

・ 発火したり、異常作動してけがの原因になります。



必ず守る

（事業者の方へ）樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行なう場合は法、規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。

関連法令 労働安全衛生法 第 59 条第 3 項

安全衛生特別教育規程 第 10 条

労働安全衛生規則 第 36 条第 8 号

安全上のご注意

⚠ 警 告

電池パック・充電器に関して



禁止

電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。

- ・ 端子に金属類を接触させないでください。
- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
- ・ 雨や水にぬらさないでください。



禁止

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用や充電はしないでください。

- ・ 爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。

- ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。



禁止

充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けしないでください。



禁止

充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

⚠ 注 意

作業の前に



よく読む

工具類（ソーチェン、ガイドバーなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

- ・ 誤った取付け方をすると、ガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。

⚠ 注 意

安全作業のため



必ず守る

保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

- ・ そで口をきちんと閉めた作業服、チェンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）を着用。
- ・ ヘルメットまたは規格に適合した帽子を着用。
- ・ 足元保護のために滑りにくい安全靴。
- ・ 保護めがねまたはフェイスガード。
- ・ 巻込まれにくい防振性の高い手袋。耳栓、イヤマフなどの防音保護具着用。



必ず守る

使用しないときは、ガイドバーにカバーをし、ソーチェンがむき出しにならないようにして、子どもの手の届かない所に保管してください。

- ・ けがの原因になります。



点検・確認

スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。

- ・ 本体が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。



点検・確認

材料に石、釘などの異物が入っていないことを確認してください。

- ・ ソーチェンが石などに当たると、けがの原因になります。



切断材料は、確実に固定してください。また切落とし材に十分注意してください。

- ・ けがの原因になります。



必ず守る

切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

- ・ ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。



禁止

本体を作動させたまま地面、床などに放置しないでください。

- ・ けがの原因になります。



必ず守る

作業中は、風窓を地面に近づけないでください。

また、スイッチを切った後はソーチェンが完全に止まってから地面に置いてください。

- ・ 風窓から砂などを吸込んで故障の原因になります。

安全上のご注意

！ 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。
必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

業務でチェンソーを使用する場合のご注意

2019年8月1日以降、チェンソーを使用して伐木作業などをする場合、チェンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）の着用が義務付けられています。

- ・ 業種にかかわらず、チェンソーを使用して伐木作業などを行なう場合は対象となります。
- ・ チェンソー用下肢防護衣は、JIS T8125-2 または同等の規格に適合したものを着用ください。

※ 詳細は、厚生労働省から2019年2月14日に公布された文書（基発0214第9号）をインターネットで検索し、ご覧ください。

業務ではなく個人で使用する場合は、チェンソー用下肢防護衣の着用は義務付けられていませんが、安全に作業するため、着用をお勧めいたします。

※ この取扱説明書は、大切に保管してください。

リチウムイオン電池の回収にご協力ください。



Li-ion

左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっていますので、不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店または当社営業所にお持ちくださるようお願いいたします。

⚠ 注 意



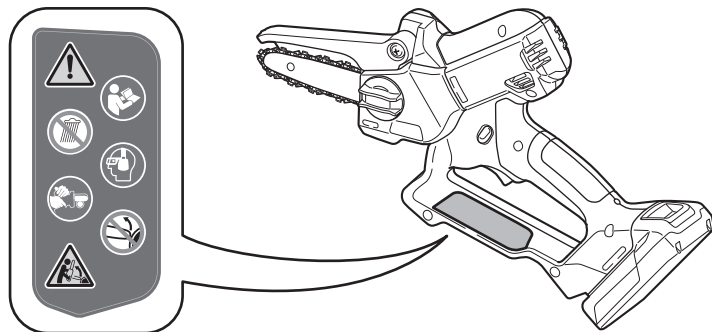
必ず守る

- ・ 不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分の短絡により発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

■ 注意ラベルについて

本機に次の注意ラベルが貼付けてあります。注意ラベルの意味をよく理解したうえで作業してください。

● 貼付け位置



● マーク説明

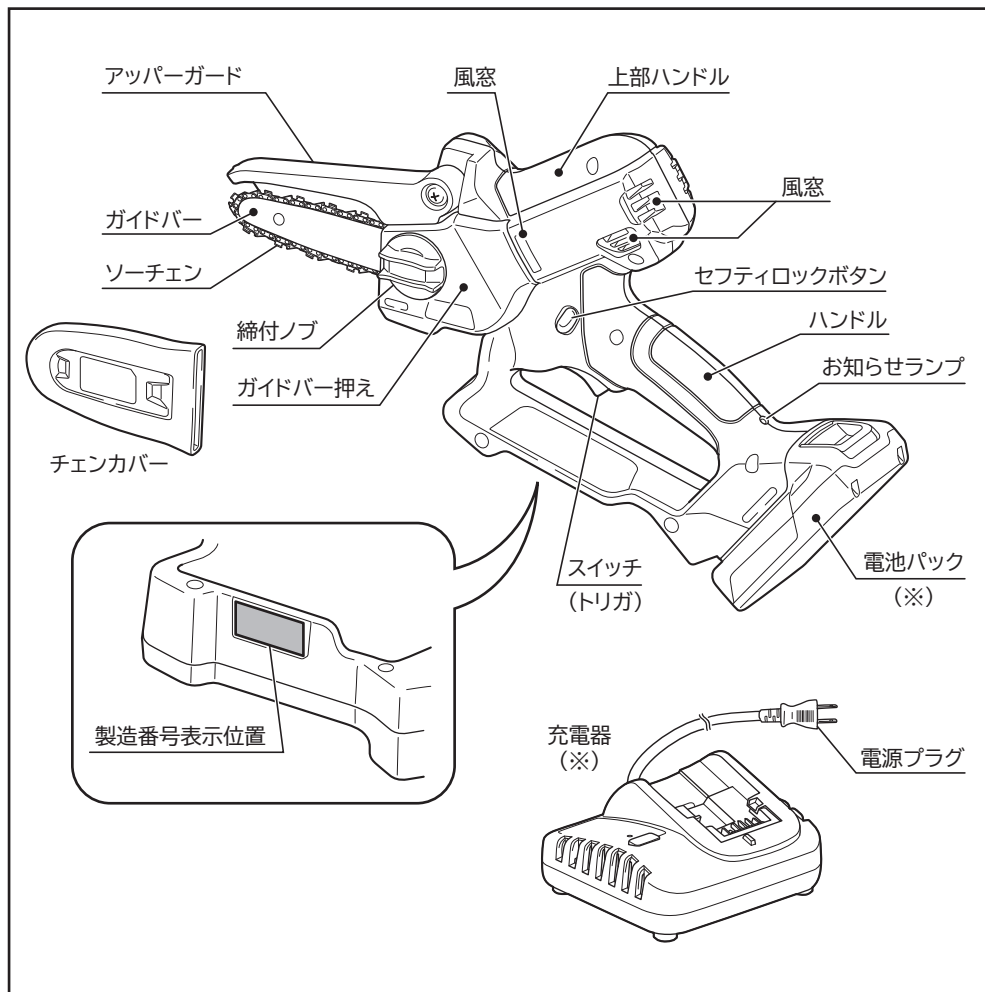
	取扱説明書または本機に表示の危険・警告・注意などに従って安全に使用すること		使用前に取扱説明書をよく読むこと
	雨中で使用したり、湿ったまたはぬれた場所で使用しないこと		作業中は、保護メガネ、イヤマフを必ず着用すること
	ハンドルは両手で確実に保持すること		キックバックのおそれがあるため、ガイドバー先端部をものに当たらないこと
	キックバックに注意すること		

● 取扱い

- ・ 注意ラベルについた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- ・ 注意ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
- ・ 注意ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に、同じ注意ラベルを貼ってください。

主要機能・名称

■ 各部の名称



※ 本体のみ仕様には充電器・電池パックは付属しておりません。

仕様

● 本体

- ・ チェンスピード 10 m/s
- ・ 有効切断長さ 100 mm
- ・ ソーチェン 1/4P11-28E (ピッチ 1/4")
- ・ 電源 DC 18V (リチウムイオン)
- ・ 本体寸法 ※¹ (長さ×幅×高さ) 392 × 84 × 248 mm
- ・ 質量 ※¹ 1.5 kg
- ・ 振動 3 軸合成値 ※² 5.0 m/s²
IEC62841-4-1 に基づき測定

※ 1 ガイドバー、ソーチェン、電池パック (B-1815LA) 取付時の値です。

※ 2 『3 軸合成値の取扱い』については、日本電機工業会のウェブサイトで紹介しておりますのでご参照ください。

<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>

● 電池パック (B-1815LA)

- ・ 電圧 DC18 V ※³
- ・ 電池 リチウムイオン電池
- ・ 容量 1,500 mAh
- ・ 質量 0.35 kg

※ 3 18V 電池パックには、ラベルの電圧表示が異なる電池パックがありますが、同等の性能であり問題なくご使用になれます。

※ 4 充電時間は周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

● 充電器 (UBC-1803L)

- ・ 電源 AC 100V 50/60 Hz
- ・ 定格出力電圧 DC 10.8-18 V
- ・ 充電時間 69 分 ※⁴
- ・ 質量 0.31 kg

◆ 上記は当社の基準に基づいた値です。

● 1 充電あたりの作業量 (目安) (周囲温度 20℃)

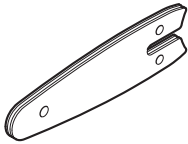
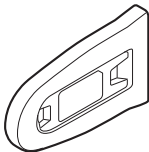
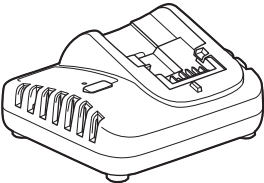
※ 表中の数値は満充電にしたときの参考値です。
電池パックの電池容量および、材質、ソーチェンの切れ味、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。

(1,500mAh 電池パック使用時)

材 料	切断量
杉 (角) 40mm × 40mm	約 130 本

付属品・用途

■ 付属品

ガイドバー……………1 (本体取付) 	ソーチェン……………1 (本体取付) 	チェンカバー……………1 (本体取付) 
チェンオイル (40mL) ……1 	電池パック※……………1 (B-1815LA) 	充電器※……………1 (UBC-1803L) 

※ 本体のみ仕様には充電器・電池パックは付属していません。

■ 用途

- ・ 枝打ち、木材の切断



- ・ 竹、細い木、柔らかい立木などは切れない、または切りにくい場合があります。

別販売品

電池パック・充電器

(21 ページの「電池パック・充電器について」参照)

グローブ



チャップス

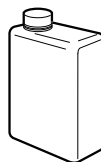
業務でチェンソーを使用する場合はチェンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）の着用が義務付けられています。



チェンオイル



100mL



1000mL



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。
- ・ 電子カタログ <https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



準備

■ 充電について

⚠ 危険



禁止

指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。

- ・ 改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。



禁止

電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。

- ・ 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

⚠ 警告



禁止

正しく充電してください。

- ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し火災のおそれがあります。
- ・ 周囲の温度が 0℃以下、または周囲の温度が 40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
- ・ 電池パックは換気の良い場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
- ・ 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。



必ず守る



電源プラグ
を抜く



禁止

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用や充電はしないでください。

- ・ 爆発や火災のおそれがあります。



禁止

火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。

- ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

⚠ 注意



禁止

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。



必ず守る

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

● 充電方法

充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。

充電状態は充電器のランプで表示しています。(21 ページ〈表 1〉参照)

【1】 充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。

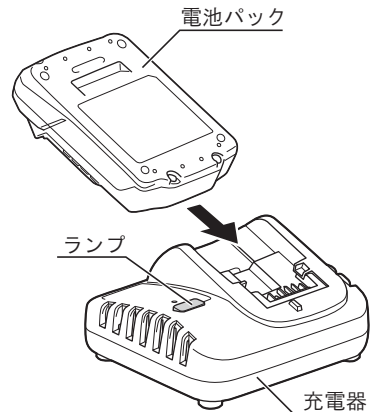
【2】 電池パックを充電器にさし込みます。



- ・電池パックを奥まで確実にさし込んでください。充電できない場合があります。

【3】 充電が完了したら電池パックをスライドして充電器から抜取ります。

【4】 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- ・充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・リチウムイオン電池は、電池パックの温度が 0℃～40℃の間で充電できます。
- ・充電完了後は、必ず充電器から電池パックを取外してください。

● 充電器（UBC-1803L）ランプ表示

〈表 1〉

表示モード	ランプの表示		表示内容
充電前	緑	点滅 	充電器をコンセントにさし込んだ状態。
充電中	赤	点灯 	充電している状態。
保護充電中	赤	点滅 	電池保護のための初期充電状態。※
充電完了	緑	点灯 	充電が完了した状態。
温度待機	緑	短点滅 	電池パックの温度が充電に適した温度でない状態。 ・充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
充電不可	緑・赤	短点滅 (交互) 	充電できない状態。以下の原因が考えられます。 ・電池パックのさし込みが不十分。 ・電池寿命または電池パック、充電器の故障。

※ 購入後、初めての使用時や、長期保管後の電池パックは“保護充電中”になる場合があります。
保護充電が終了すると、自動で“充電中”に切り替わります。

● 電池パック・充電器について

本機に使用可能な電池/パックおよび充電器で充電する場合の充電時間は〈表2〉の通りです。
お手持ちの電池パック、充電器をご使用の場合、または購入される際は、〈表2〉をご確認ください。

〈表 2〉

充電器		電池パック	リチウムイオン電池			
			B-1815LA 1,500 mAh	B-1850LA 5,000 mAh	B-1860LA 6,000 mAh	DB3625L ^{※4} 2,500 mAh(36V) 5,000 mAh(18V)
充電時間 ^{※1}	UBC-1803L ^{※2}		69 分	250 分	262 分	250 分
	UBC-1802L ^{※2}		25 分	84 分	91 分	84 分
	BC-1800L	80%充電 ^{※3} (実用充電)	18 分	25 分	31 分	25 分
		満充電	24 分	37 分	47 分	37 分
	UBC1804L	80%充電 ^{※3} (実用充電)	16 分	46 分	60 分	46 分
		満充電	21 分	54 分	67 分	54 分

※ 1 充電時間は周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

※ 2 充電器 UBC-1803L（付属品）、UBC-1802L は、満充電時の時間です。

※ 3 80%充電（実用充電）は、満充電の 80%の充電状態です。

※ 4 （デュアルパワーボルト）の電池パックです。工具本体により自動で 36V 2,500Ah / 18V 5,000Ah に切り替わります。

付属品以外の電池パック、充電器をご使用の場合は、各商品の説明書などをご確認ください。

● 電池パックの保管について

⚠ 注意



必ず守る

- ・ 電池容量が少ない状態で放置しないで充電してください。お知らせランプが点滅する場合は、充電してから保管してください。
- ・ 満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。
- ・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合は、満充電にして保管してください。
- ・ 電池パックを長期間保管する際は、必ず本体または充電器から取外して保管してください。

● 電池寿命について

正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合には、電池寿命とお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

■ ご使用前の準備

● 作業する場所に関して

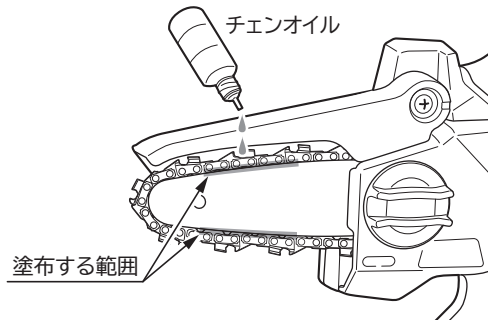
作業場所および作業周辺の状況を確認し、事故や故障の原因になるものがある場合は、取り除いてください。

● チェンオイルの塗布の仕方

【1】 本機より電池パックを取外してください。

【2】 付属のチェンオイルを適量ソーチェーンとガイドバーの間に塗布してください。

【3】 本機に電池パックを取付け、周りに障害物、人が居ないことを確認してからスイッチを入れて、空回ししてください。本機を作動させることによって、チェンオイルがソーチェーン全体にいき渡ります。



- ・ 空回しをするときに、チェンオイルが飛散しますので注意してください。



- ・ 出荷時は、ソーチェーンにチェンオイルは塗布しておりません。ご使用前に、毎回、チェンオイルをソーチェーンに必ず塗布してください。塗布せずに使用すると、故障やけがの原因になります。

■ ご使用前の点検

⚠ 警告

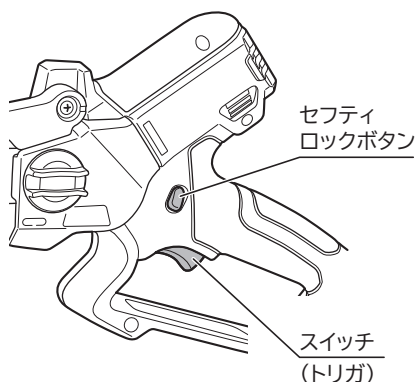


必ず守る

- ・ ご使用前に次のことを確認してください。
①および②項については、電池パックを取外した状態で確認してください。
- ・ ソーチェンの張りを確認するときは、必ず手袋をはめて行なってください。
けがの原因になります。

① スイッチ操作

スイッチはセフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入り、トリガを放すと切れます。トリガを放したときに、トリガが戻ることを必ず確認してください。



② ソーチェンの確認

- ・ ソーチェンが確実に取付けられていることを確認してください。
- ・ ソーチェンの調整が必要な場合は 26 ページの「ソーチェンの張り調整」に従って調整してください。
なお、ご購入時点では、ソーチェンの張りは調整済みですので、調整は不要です。
- ・ ソーチェンの交換が必要な場合は 34 ページの「ソーチェンの交換」に従って交換してください。

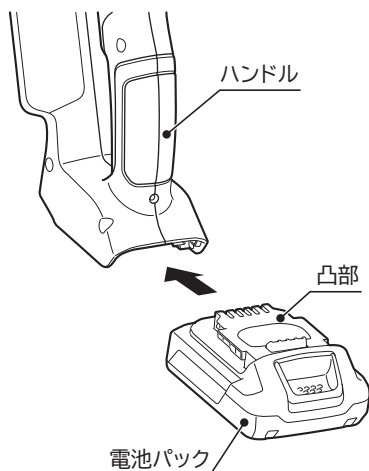


- ・ スイッチを切った直後に再度スイッチを入れると、お知らせランプが点灯することがありますが、異常ではありません。

③ 電池パックの取付け、取外し

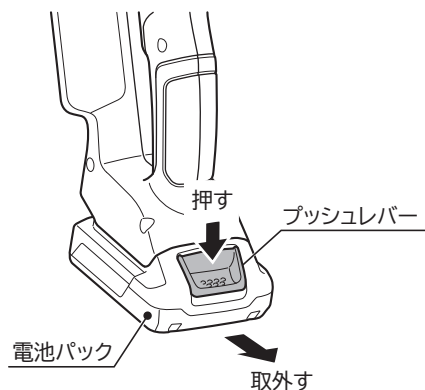
〈取付け〉

本体のハンドル下部の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、確実にさし込んでください。



〈取外し〉

プッシュレバーを押さえて、矢印方向にまっすぐに電池パックをスライドして取外します。



使い方

■ スイッチの扱い方

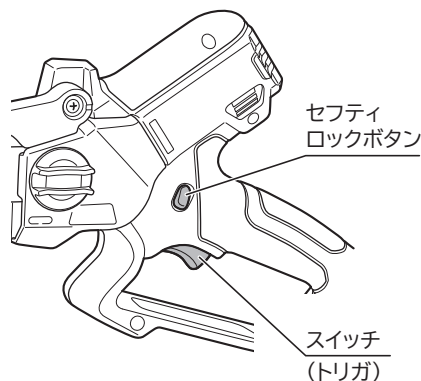
⚠ 警 告



必ず守る

- ・トリガに指を掛けて運ばないでください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

- ・本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・スイッチは、セフティロックボタンを押した状態でトリガを引くと入ります。トリガから指を放すと切れます。



■ソーチェーンの張り調整

ソーチェーンは使用を繰り返すと伸びが発生するため、ソーチェーンの張り具合が変化します。作業前および作業中にソーチェーンの張り具合を点検し、必要に応じて張り具合を調整してください。

【1】 本機より電池パックを取外してください。

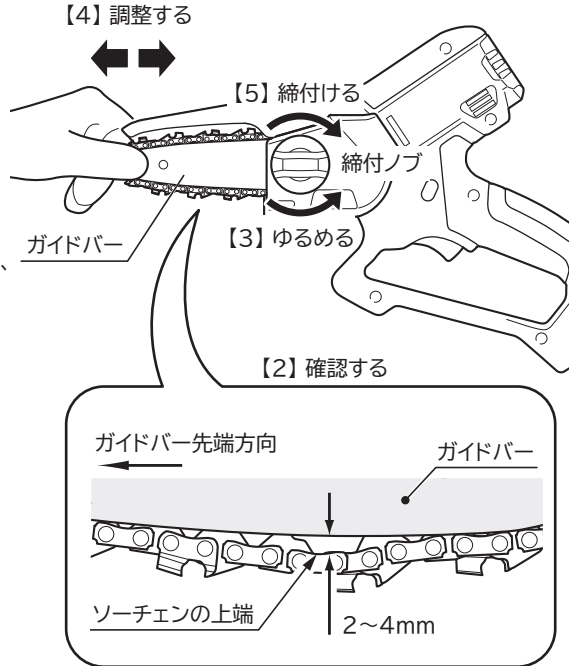
【2】 ガイドバーの中ほどでソーチェーンを軽く指で引下げて、ガイドバーとソーチェーンの上端とのすき間を確認してください。
(適正すき間：2～4mm)

※ 調整が必要な場合は、手順【3】に進み、張り調整を行なってください。

【3】 締付ノブをゆるめてください。

【4】 ガイドバーの先端を持ち、ガイドバーとソーチェーンの上端とのすき間が2～4mm程度になるようにガイドバーの位置を調整してください。

【5】 締付ノブをしっかりと締付けてください。



■チェーンオイルについて

出荷時は、ソーチェーンにチェーンオイルは塗布しておりません。ご使用前に、毎回、チェーンオイルをソーチェーンに必ず塗布してください。塗布せずに使用すると、故障やけがの原因になります。

チェーンオイルの塗布の仕方は 22 ページの「チェーンオイルの塗布の仕方」に従って塗布してください。

使い方

■ 切断作業

 警 告	
 必ず守る	・ 使用中は両手で確実にハンドルを保持してください。 本体がはね返り、けがの原因となります。
 必ず守る	・ ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。 本体がはね返り（キックバック）けがの原因になります。
 必ず守る	・ 使用中は、ソーチェン、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。  回転部注意
 禁止	・ 使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋は着用しないでください。 回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
 禁止	・ はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。 また、肩の高さより高い位置で使用しないでください。
 禁止	・ 高所（高さが 2 m を超える箇所）で作業を行なうときは、高所作業用の機器を使用して安定した足場を確保し、安全帯（芯入り）を必ず着用し身体をしっかりと固定してください。けがや事故の原因になります。
 禁止	・ 高所作業時は、両手でハンドルを正しく握り、肘を軽く曲げて作業をしてください。 片手持ち作業、腕を伸ばしての作業は行なわないでください。けがの原因になります。 ・ 作業範囲は作業者の肩から腰の高さとし、それ以外では作業を行なわないでください。けがの原因になります。

⚠ 注 意



点検・確認

- ・スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。本体が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。



必ず守る

- ・切断材料は、確実に固定してください。また切落とし材に十分注意してください。けがの原因になります。



必ず守る

- ・切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。ガイドバーがはさみつけられるとけがの原因になります。

保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。



必ず守る

- ・そで口をきちんと閉めた作業服、チェンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）を着用。
 - ・ヘルメットまたは規格に適合した帽子を着用。
 - ・足元保護のために滑りにくい安全靴。
 - ・保護めがねまたはフェイスガード。
 - ・巻込まれにくい防振性の高い手袋。耳栓、イヤマフなどの防音保護具着用。
- ※ 労働安全衛生規則が改正され、2019年8月1日以降、業務でチェンソーを使用する作業者は、チェンソー用下肢防護衣（防護ズボンなど）の着用が義務付けられています。



回転部注意

- ・使用中、ソーチェンが人や別の材料、他のものに触れないように注意してください。とくに、切り終わりのとき、人や別のもの、地面などに接触しないように注意してください。



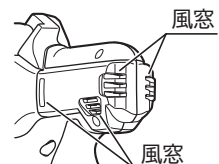
禁止

- ・本体を作動させたまま地面、床などに放置しないでください。けがの原因になります。



必ず守る

- ・作業中は、風窓を地面に近づけないでください。また、スイッチを切った後はソーチェンが完全に止まってから地面に置いてください。風窓から砂などを吸込んで故障の原因になります。
- ・風窓部に木屑などが詰まっていると故障の原因になります。こまめに清掃してください。
- ・アッパーガードを上げて固定した状態で使用しないでください。





必ず守る

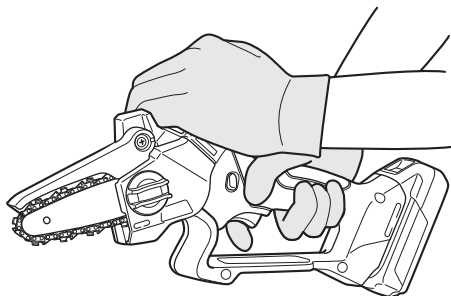
- ・ 切断を行なう前にソーチェンの張り具合の確認および、ソーチェンにチェンオイルを塗布してください。
- ・ チェンオイルが飛散しますので、作業に適した服装を着用してください。
- ・ 無理に押しつけたり、切断中にこじたりしますと機械各部の故障の原因になります。無理なく、まっすぐに切断してください。
- ・ ブレーキ付のためスイッチを切った時に、風窓付近で火花が見えることがありますが異常ではありません。

● 切断作業の流れ

- 【1】 ソーチェンの張り具合を確認してください。
(26 ページの「ソーチェンの張り調整」参照)
- 【2】 ソーチェンにチェンオイルを塗布してください。
(22 ページの「チェンオイルの塗布の仕方」参照)
- 【3】 本体に電池パックを取付けます。
(24 ページの「電池パックの取付け、取外し」参照)
- 【4】 スイッチを入れてソーチェンのスピードを上げた後、切断作業を始めてください。
作業中は、無理な力をかけずにしっかりと本機を持って作業をしてください。
力を加えず作業を行なうと、最大の作業効率を発揮します。
- 【5】 作業が終わったら、スイッチを切って、電池パックを取外してください。
- 【6】 切断した枝などを次の作業に支障がない位置に移動させてください。

● 切断作業時の持ち方

切断作業を行なう際は、下図のように両手で本体を持ってください。



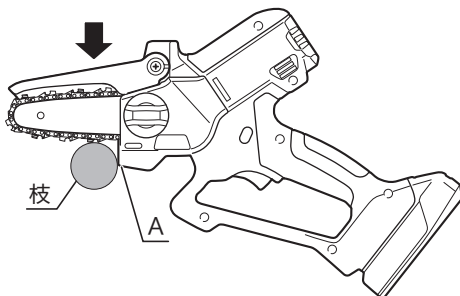
● 樹木のせん定

「切断作業時の持ち方」を守りながら、以下のように切断します。

- 【1】 スイッチを入れてソーチェンのスピードを上げた後、ガイドバーの付け根付近（図中 A 部）を切断する枝に静かに当ててください。



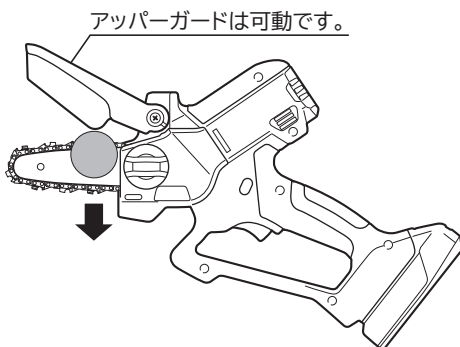
- ・ガイドバー先端部でのせん定や先端部を枝や地面に触れさせることは絶対におやめください。本体がはね返り（キックバック）、けがの原因になり大変危険です。



- 【2】 そのままゆっくりと押し下げて切断してください。



- ・一度に複数の枝を切ろうとせず、1本ずつ切断してください。
- ・定期的にガイドバーおよびソーチェンの塗布状態を目視で確認し、オイルが少なくなっている場合は 22 ページの「チェーンオイルの塗布の仕方」に従って塗布してください。

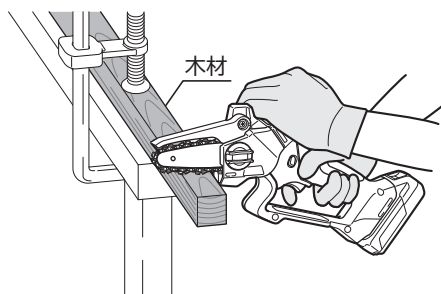


使い方

● 木材の切断

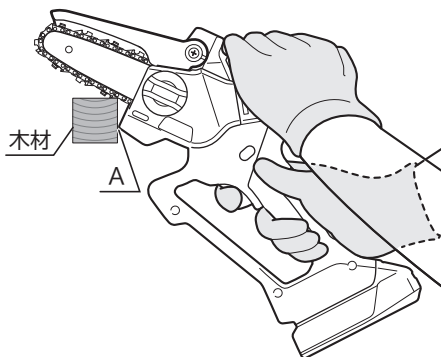
「切断作業時の持ち方」を守りながら、以下のように切断します。

- 【1】 切断する木材をクランプなどでしっかり固定します。



- 【2】 スイッチを入れてソーチェンのスピードを上げた後、ガイドバーの付け根付近（図中 A 部）を切断する木材に静かに当ててください。

	ガイドバー先端部での切断や先端部を木材や地面に触れさせることは絶対におやめください。本体がはね返り（キックバック）、けがの原因になり大変危険です。
--	---



- 【3】 そのままゆっくりと押し下げて切断してください。

	- 切断する木材の下に十分な空間を確保してください。床などに近すぎると、切断後にソーチェンが当たり、ソーチェンの破損やキックバックによるけがの原因になります。 - 定期的にガイドバーおよびソーチェンの塗布状態を目視で確認し、オイルが少なくなっている場合は 22 ページの「チェーンオイルの塗布の仕方」に従って塗布してください。
--	---

■ 本体が動かなくなったときには（保護回路作動 / 電池切れ）

⚠ 警告



必ず守る

- ・ガイドバー部分が切断材などに食い込んだり、小枝を巻込んだときは、必ずスイッチを切り、本体から電池パックを取外した後、切断材から本機を離したり、異物を取除いてください。不意な始動による、けがの原因になります。

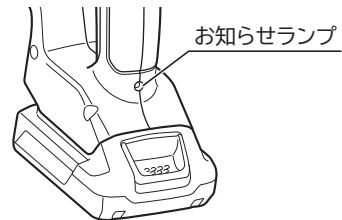
⚠ 注意



必ず守る

- ・ソーチエンに巻付いた異物を取除くときは、手袋、ウエスなどで手を保護してから行なってください。けがの原因になります。

本機には本体の保護および電池寿命を保つため保護回路を搭載しており、保護回路が働いているときは動きません。また電池切れの場合も動きません。本体が動かないときは、スイッチを入れ「お知らせランプ」の点灯状態を確認のうえ、下表を参考に原因を取除いてください。



本体が動かなくなった

症状	スイッチを入れても動かない				
お知らせランプ	点灯しない	点滅→消灯			
原因	電池パックがきちんと取付けられていない	電池切れ※	本体が過負荷状態になった	ソーチエンに異物が巻付いている	本体または電池パックの温度が高い
処置	電池パックをきちんと取付ける	充電する	スイッチを切り、電池パックを本体から取外し、過負荷の原因を取除く	電池パックを取外して異物を取除く	本体または電池パックを常温まで冷ます
処置後も異常がある場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお持ちください					

※ 電池切れに近づくとお知らせランプが点灯し（この時は本体は動いている）、電池切れで本体が止まり点滅・消灯します。

保守と点検

⚠ 警 告



必ず守る

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。けがの原因になります。

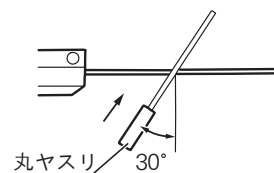


分解禁止

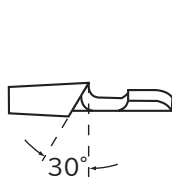
- ・ 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
発火したり、異常作動してけがの原因になります。

■ソーチェンの目立て

- ・ 目立ては自分でできます。
- ・ 市販の直径 3.2mm の丸ヤスリで左刃・右刃の角度に注意し、目立てをしてください。



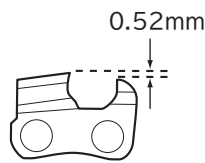
- ・ 仕上げ角度は、下図のようになるのが理想的です。



上刃目立て角度



上刃切削角度



デプスゲージセッティング

■ソーチェンの交換

⚠ 警 告



必ず守る

- ・ソーチェンの交換のときは、スイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。



よく読む

- ・ソーチェンは取扱説明書に従って正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、ガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。



必ず守る

- ・ソーチェンは仕様に明記してあるタイプの純正品を使用してください。誤ったタイプを取付けるとガイドバーからソーチェンが外れ、けがの原因になります。

⚠ 注 意

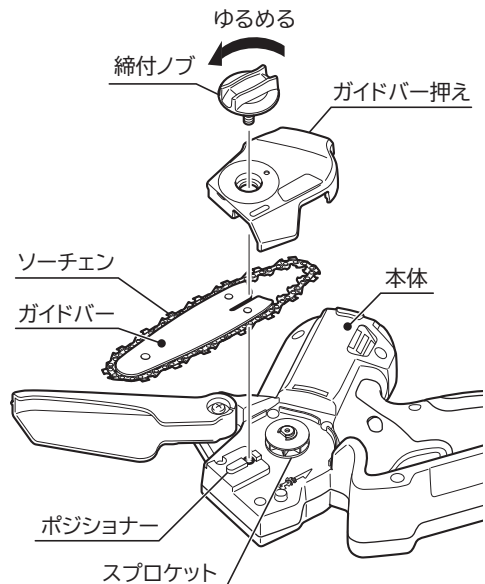
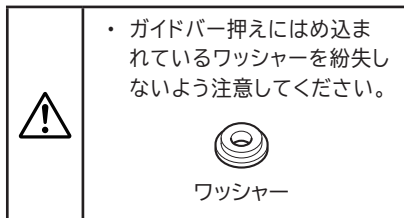


必ず守る

- ・ソーチェンの交換のときは、必ず手袋をはめて行なってください。けがの原因になります。

●ソーチェンの取外し

- 【1】 締付ノブを回してゆるめ、ガイドバー押えを取外します。
- 【2】 ガイドバーとソーチェンをポジショナーおよびスプロケットから取外します。
- 【3】 ガイドバーからソーチェンを取外します。



保守と点検

●ソーチェンの取付け

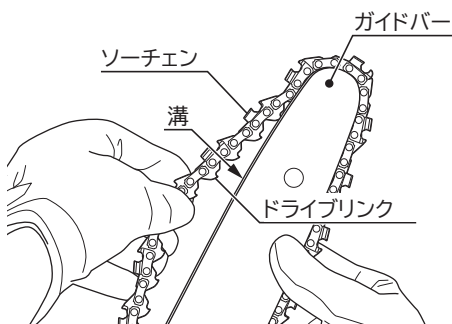
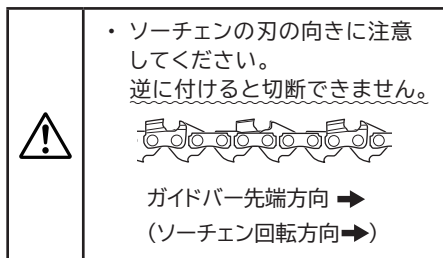
⚠ 注意



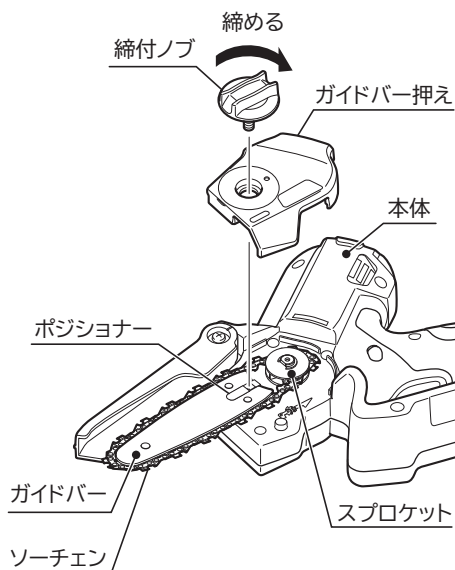
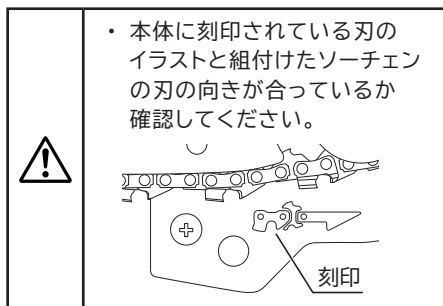
必ず守る

- ・ソーチェンの取付けのときは、必ず手袋をはめて行なってください。けがの原因になります。

- 【1】 ガイドバーの溝にそって、ソーチェンのドライブリンクをはめ込みます。



- 【2】 ガイドバーの溝からソーチェンのドライブリンクが外れないように持ちます。ソーチェンのドライブリンクをスプロケットの歯に引っかけてから、ガイドバーの凹みをポジショナーにあわせて取付けてください。



- 【3】 ガイドバー押えを取付け、締付ノブをしっかりと締付けてください。



- ・ 26 ページの「ソーチェンの張り調整」に従って、ソーチェンの張り具合を調整してください。
- ・ 本体とガイドバー押えの間にすき間がないことを確認してください。

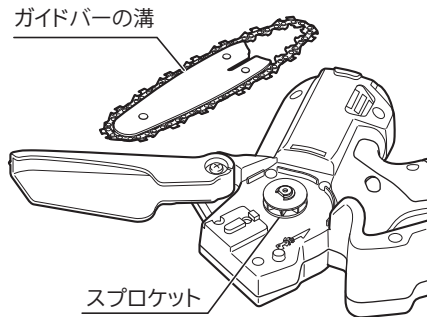
■ 各部取付けネジの点検

ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■ 使用後の手入れ

● ガイドバーの清掃

34 ページの「ソーチェンの交換」を参考にガイドバー押えを取外し、ガイドバーの溝やスプロケット周辺に詰まっている木屑を取除いてください。



● ソーチェンの注油

使用後はサビ止めのため、ソーチェンに注油してください。
(22 ページの「チェンオイルの塗布の仕方」参照)

● 表面の汚れの清掃

- ・ 油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。
また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

● 風窓部の清掃

風窓部に詰まっている木屑などを取除いてください。

■ 作業後の保管

- ・ 作業後は、ソーチェンがむき出しにならないようにチェンカバーを取付けてください。
- ・ 使用後にソーチェン、ガイドバーに付着したチェンオイルが流れ落ちることがあります。ビニールを敷くなどして周囲を汚さないように注意してください。
- ・ 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。
- ・ 電池パックを長期間保管する場合は下記のことにご注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、満充電にして保管すること。
 - b. 6 ヶ月に一度は充電すること。
 - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所での長期保管はしないこと。
 - d. 0℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 必ず本体または充電器から取外して保管すること。

■ 修理について

- ・ 本機は厳密な管理の下で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
- ・ その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
充 電 器	充電できない	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。	20
		電池パックが充電器に確実にさし込まれていますか。	電池パックを奥まで確実にさし込んでください。	20
		電池パックまたは充電器の充電端子が汚れていませんか。	綿棒などで汚れをふき取ってください。	—
		電池パックが高温になっていませんか。	電池パックを十分冷ましてから充電してください。	21
	充電開始後、3 時間くらい経過しても充電完了ランプが点灯しない	電池寿命または電池パック、充電器の故障と考えられます。	21 ページの「充電器ランプ表示」の項目を確認してください。 故障が考えられる場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	21
本 体	動かない	電池パックが確実に取付けられていますか。	電池パックを外して、工具の電池取付け部分に異物が混入していないか確認してください。また、電池パック端子部に汚れなどが付着していないか確認してください。電池パックは奥まで確実にさし込んでください。	24
		古い電池パックを使用していないですか	電池は充放電の繰り返しなどにより劣化してきます。劣化した古い電池を使用した場合、保護回路が通常より早く作動する場合がありますので、その際は、新しい電池パックに交換してください。	—

故障かなと思ったら

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
本 体	動かない	ソーチェンの張りがきつくありませんか。	ソーチェンの張り具合を確認し、きつい場合は、張りをゆるめてください。	26
		ソーチェンからスプロケットが外れていませんか。	ガイドバー押えを取外して、スプロケットにソーチェンのドライブリンクをはめてください。	35
		保護回路が作動していると考えられます。	スイッチを入れた時に「お知らせランプ」が点灯・点滅する場合は、32 ページの表を参考に原因を取除いてください。	32
		ガイドバー押え内に切粉が詰まっていますか。 ガイドバーの溝に切粉が詰まっていますか。	ガイドバー押えを取外して、スプロケット周辺を清掃してください。 ガイドバーの溝を清掃してください。	36
		過負荷状態になっていませんか。	過負荷状態になるとモーター保護回路が働き、モーターが停止する場合があります。 スイッチを切り、電池パックを取外してから過負荷の原因を取除いてください。	32
	切れ味が悪い	ソーチェンが摩耗、刃こぼれしていませんか。	ソーチェンの目立てを行なってください。 摩耗、刃こぼれがひどいときは、新しいソーチェンと交換してください。	33 ~ 35
		ソーチェンの向きが逆になっていませんか。	ソーチェンの向きを確認し、正しい向きに付け直してください。	35
		ソーチェンの張りがゆるくなっていますか。	ソーチェンの張りを確認して、ゆるい場合にはソーチェンの張りを調整してください。	26

これらのチェックを行なっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

NOTE

NOTE

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ



0570-666-787

受付時間：

月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで

※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、こちらをご確認
ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は、こちらをご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

持込修理

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名 BHCS-1810		製造番号（表示位置は「■各部の名称」をご確認ください）	
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
		電話	()
お買い上げ日 年 月 日		保証期間（お買い上げ日より） 6ヶ月	
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号		

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
 - 水の浸入による故障または損傷
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
 - 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷
 - 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
 - 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
 - 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
 - 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社
広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

